とくtalk［とくと～く］

徳大広報
2024 夏号
Summer No.196
Tokushima University

特集
徳島大学の防災

研究室へようこそ P4　理工学部 准教授 平田 章
最先端研究探訪 P5　薬学部 教授 金沢 貴憲
魅力ある授業 P7　生物資源産業学部 講師 橋本 直史
My Campus Life P8
総合科学学部 社会総合科学科 4年 松林 永和
医学部 医学科 2年 三久 翠子
サークル紹介 P9
アストロラーブ / アメリカンフットボール部 / 男子バレーボール部 / ホスピタルアートクラブ
就職状況・各種国家試験合格状況 P11
ガレリア新蔵 / 徳大ニュース P13
徳島大学基金 / 編集後記

徳島大学基金

皆さまには、平素から徳島大学の教育、研究、社会との共創活動に対しまして様々なご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

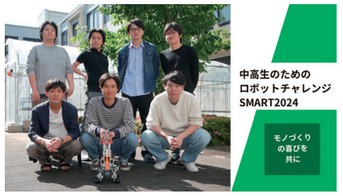
徳島大学は、未来を見据え、現在までに培ってきた知と人の財産を継承し、新しい時代と社会の課題に応えうる教育・研究の充実を図って参ります。徳島大学が将来にわたり「人、地域をはぐくみ未来をつくる」活動を精進していくには、長期的に安定した財産基盤の強化、基金の充実が不可欠です。教職員はもとより、卒業生、学生の父母等の皆さまをはじめ、個人、企業、団体などの皆さまにおかれましては、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

申込方法、税制上の優遇措置など、詳しくはこちら

徳島大学基金の取組

中高生のためのロボットチャレンジ SMART2024
－目標金額を達成しました－

中四国の中高生が参加し、地域の人材育成と活性化を目的とした自律移動型ロボットの大会SMART（Smart Mobile & Autonomous Robot Tournament）を運営する、大学院創成科学研究科、安野・鈴木研究室の学生たちが、大会の運営資金をクラウドファンディングで挑戦し、目標金額を達成しました。大会やモノづくりを通じて、中高生にやりたいことが実現する喜びや、出来なかったときのくやしさやもどかしさなど、その醍醐味を味わって欲しい、チームで何かを作り上げる自由と楽しみを体験してもらいたいと、学生たちは2000年からこの大会運営を続けています。今年は、8月3日（土）、愛媛県四国中央市で開催します。たくさんのご支援、ありがとうございました。



クラウドファンディングページ

未来創造基金
－使い道を徳島大学に委ねていただくご寄付です－

未来創造基金としていただいたご寄付は、学生の課外活動や経済支援、教育研究環境の整備、若手研究者への支援及び社会連携の推進などに活用します。皆さまのご厚志により、地域社会に貢献できる人材育成に取り組み、研究力をますます強化できる徳島大学の中核となる基盤的な基金としての拡充を目指しています。

徳島大学へのご寄付のお申込や税制上の優遇措置については、下記「徳島大学基金プロジェクトサイト」からご確認ください。

未来創造基金プロジェクトサイト

ご寄付を頂いた皆さま（五十音順）

2024年1月から3月までの間に、徳島大学基金にご寄付いただいた皆さまのご芳名を紹介させていただきます。ご支援、誠にありがとうございました。

石村 倫子 様　上町 昊 様　河野 敏隆 様　栗田 陽生 様　田中 敏 様
中西 純夫 様　浜野 龍夫 様　廣瀬 将人 様　眞鍋 佑都 様　三浦 光太郎 様
山口 勝己 様　米田 道生 様

ご支援いただいた皆さまのご芳名につきましては、徳島大学公式ウェブサイトにも掲載しております。徳島大学では、学生の修学や課外活動等が充実していくよう引き続き学生に寄り添い支援していきます。今後も、徳島大学の取組および徳島大学基金の充実にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

徳島大学基金寄付者のご紹介

【お問合せ先】徳島大学総務部未来創造課
Tel：088-656-9979　E-Mail：dosokikink@tokushima-u.ac.jp

編集後記

生物資源産業学部 講師 石丸 善康

今号の特集では、「徳島大学の防災」をテーマに、地域の防災と環境保全の取組を紹介しました。徳島大学環境防災研究センターは、防災士養成講座や四国防災・危機管理プログラムを実施し、防災力向上に貢献しています。「とくしま大学環境防災 Café」や FM 徳島の「防災 Café」では、身近な話題から防災意識を高める取組が行われています。また、学生による徳大防災サークル「てくと」も活動中です。近年の地震や自然災害を受けて地域の安全意識が高まり、防災知識の学びと情報発信・共有が重要になっています。徳島大学は地域と連携し、強固な防災体制の構築に努めています。今後とも、教職員や学生の活動へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

徳大広報とくtalk No.196をお読みいただきありがとうございます。
ご意見ご感想は下記アンケートにお寄せください。
また、とくtalk誌面への広告掲載のご要望は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
発行：徳島大学総務部未来創造課　〒770-8501 徳島市新蔵町2-24
Tel：088-656-7646　E-mail：koho@tokushima-u.ac.jp
URL：https://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk
発行日：2024年7月 本誌は年4回（4月、7月、10月、1月）発行

アンケートはこちら

とくtalkバックナンバー

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C126198

特集

徳島大学の防災

徳島大学環境防災研究センター

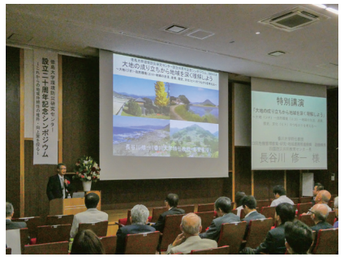
当センターは、環境・社会の持続可能性を高める研究や取組の拠点となることを理念に２００４年に設置されました。以来、学内外の幅広い学術分野が連携し、地域の防災と環境保全の研究拠点としての役割を担うとともに、県内の行政機関や企業、他大学等との連携・協働により、人材育成や市民アウトリーチ活動等を積極的に行ってきました。これは、地方の国立大学の使命として、地域に寄り添い、信頼されること、例え自然災害にあっても大学と地域の持続可能性を損なわないように事前準備と対応策、関係性を構築することが必要と考えているからです。南海トラフ地震や気候温暖化等に伴う環境変動・自然災害の対策強化が一層求められる中で、当センターの役割はより重要になっています。

ここでは、当センターの取組の一部について紹介します。

環境防災研究センター センター長
蒋 景彩（じゃん じんさい）

環境防災研究センター
ホームページ

設立20周年記念
シンポジウムを開催しました



設立20周年記念シンポジウムの様子

大学の取組

防災士養成

本学では、（特非）日本防災士機構の認証を受けて防災士養成講座を開講しています。本講座では、社会の様々な場での防災や災害に関する幅広い知識を習得することができます。大学生と社会人が４か月にわたり一緒に学ぶ長期講座と、２日間の短期講座は、徳島県と本学が連携して実施するものです。修了生には「防災士資格取得試験」の受験資格が与えられます。２００７年から防災士養成講座を実施し、これまでに約４４００人が防災士資格取得試験に合格しています。

防災・危機管理の専門家養成

社会人や大学院生などを対象に２０１３年より「四国防災・危機管理プログラム」を実施しています。本プログラムでは、災害時の適切な判断や意思決定、復旧・復興対応といったように、組織においてリーダーシップを発揮できる専門知識を習得することができます。香川大学と本学が共同で実施しており、基本的にはオンラインでの受講となるため、大学に通学せず職場や自宅からの受講が可能です。修了生には民間資格の「災害・危機管理マネージャー」が授与されます。

四国防災・危機管理プログラムの様子

とくしま大学環境防災Café

環境と防災の両面から地域の安全・安心や持続可能性を考える場として、毎月１回、平日の18時～20時に開催しています。当センターの教員２名が最新の調査研究や取組について話題を提供し、参加者全員で意見交換する時間もあります。基本的にはオンライン開催で、年度末のみ対面で開催予定です。コロナ禍の影響でリモート開催となって以来、県外からもご参加いただいています。

FM徳島防災Café

ＦＭ徳島のラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内のコーナー「防災Café」（毎週金曜17時45分～18時）では、防災士の資格を持つパーソナリティー・土橋琢史さんが、防災に関する身近な話題を提供しています。当センターのスタッフが専門家としてゲスト出演しています。放送後はPodcastでも配信されますので、県外在住の方もお聞きいただけます。

四国防災八十八話マップ

四国に残る災害に関する言い伝えや体験談などをまとめた四国防災八十八話マップを作成し、地域防災へ役立ててもらえるように普及啓発を行っています。自分の住んでいる地域で昔どんな災害があったのかを知って備えておくことは防災の基本です。電子データは環境防災研究センターホームページからも閲覧可能です。

四国防災八十八話マップはこちら

教員の研究

研究クラスター

徳島大学のミッション実現のための研究クラスターに防災の分野から「大規模災害からのインクルーシブ避難（誰一人取り残さない避難）の実現」が選ばれ、分野を越えた複数の研究者らがチームを組織し、研究を進めています。

例えば、①地震発生時に都市全体の建物被害をリアルタイムで予測し、重要施設や道路の被害状況などを瞬時に把握することで、緊急支援や復興に活かすための研究、②防潮堤などのコンクリート構造物の全く新しい点検・診断システムの開発、③高齢者をはじめとする要配慮者が実施可能な避難方法やサポートの在り方についての研究、④現実世界をＶＲ／ＡＲ技術でデジタルツイン化し、リアルな災害・避難疑似体験を提供する研究を行い、災害に強いまち・ひとづくりに貢献しています。

また、２０２４年１月１日に発生した「令和６年能登半島地震」では、人口減少地域の山間部で強い揺れと津波、さらには液状化や山崩れによる道路の寸断、ライフラインの途絶が発生しました。能登半島と徳島県は地形や社会状況に類似点が多く、発生が懸念される南海トラフ地震の備えに活かすために、能登半島地震の現地調査も実施し、教訓を活かす研究も行っています。

災害時の建物被害リアルタイム予測

能登半島地震（石川県珠洲市内）
調査時の様子

五月祭でVR避難訓練を学生に体験してもらっている様子

研究クラスター
ホームページ

学生の取組

徳大防災サークル「てくと」

理工学部 1年
プロジェクトリーダー
齊藤 大河
（さいとう たいが）

自身が被災した、授業で興味を持ったなど、思いは様々なれど、防災について学びたい・広めたいという学生たちが集まって４月に発足した「てくと」。現在１、２年生６人で、主に週１回常三島キャンパスにて活動中。今後は、被災地でのボランティアや、防災グッズの考案、また賛同いただける企業とも連携して取り組んでいきたいとプロジェクトリーダーである齊藤さん。「防災グッズが揃わなくても、簡単に手に入るもので代用することもできます。知識があるだけで自分を守ることができるので、活動を通じてたくさんの人に広めていきたいです」。

活動の様子

五月祭での活動報告

新入生歓迎交流イベントでブースを構え、来場者に向けて防災備蓄部品の紹介を行いました。「防災バックを持ってみよう」「段ボールベッドに座ってみよう」等体験型の紹介に、たくさんの方に興味を持っていただきました。

今日からできる防災対策

徳島大学周辺の災害について

本学は徳島市内に常三島・蔵本・新蔵の3つのキャンパスがありますが、いずれも吉野川の氾濫平野に位置し、周辺には小さな支川が多く流れているために豪雨時に洪水による浸水リスクがあります。また、南海トラフ地震においては震度7が想定されており、特に常三島キャンパスは沿岸部に近く津波による浸水リスクも高い場所です。自分の家の立地特性や災害リスクをハザードマップなどで確認するとともに、最低3日分の備えをお願いします。基本的なことですが、耐震基準を満たしたアパートに住み、家具の固定を徹底する等、命を守りケガをするようなことがないように備えてください。災害時は医療や緊急機関も麻痺しており、すぐには助けや治療ができません。自助・共助を高めておく必要があります。

	地震・津波		水害	高潮
常三島キャンパス	**震度7**	津波浸水深：0.5〜3m	洪水浸水深：3〜5m	高潮浸水深：3〜5m
蔵本キャンパス	**震度6強**	津波浸水深：0.5m未満	洪水浸水深：0.5〜3m	高潮浸水深：0.5〜3m
新蔵キャンパス	**震度7**	津波浸水深：0.5〜3m	洪水浸水深：0.5〜3m	高潮浸水深：0.5〜3m

※津波・水害・高潮は「重ねるハザードマップ（国土交通省）」を参照　※震度は「南海トラフ巨大地震による震度分布図（徳島県）」を参照

学生の皆さんへのお願い

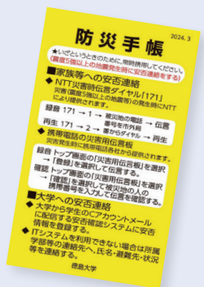
ー安全安心に学生生活を送るためにー

① 防災に興味関心を持つこと
② 徳島の自然の恵みを大いに楽しみ、災害にあっても命を守ることができる防災の基本的な知識、備え、行動を身につけること

● 防災手帳を携帯しよう

本人情報、家族・友人の連絡先を記入しましょう。

⇒ スマートフォンの電源が切れた時の想定をしておきましょう!



ダウンロードはこちらから（徳島大学公式HP）

徳島市に指定されている学内の避難所、避難場所

※大きな地震があったらどの建物でもいいので まずは3階以上に避難しましょう!

キャンパス	避難所	火災	地震	津波	洪水	高潮	土砂
常三島	共通講義棟3、4階*	○	○	○	○	○	○
	体育館3階***	○	○	○	○	○	○
	地域創生・国際交流会館3、4、5階*	○	○	○	○	○	○
蔵本	体育館2階**	○		○	○	○	○
新蔵	日亜会館3階*	○	○	○	○	○	○

*:緊急避難場所、**:避難所、***:緊急避難場所＋避難所

● 安否確認メール訓練に参加しよう

災害発生後、「徳島大学構成員安否確認メール」により、学生、教職員の安全を確認しています。必ずURLをクリックして安否状況を送信しましょう。安否確認メールは、Cアカウントメールに送信されますが、いつでもすぐに返信ができるようにスマートフォンなどへの転送設定も事前に行ってください。

⇒ 安否状況の回答がない場合、ご家族から安否の問い合わせがあっても対応することができません。皆さんの早期の対応が大学のよりよい復興へと繋がっていきます。

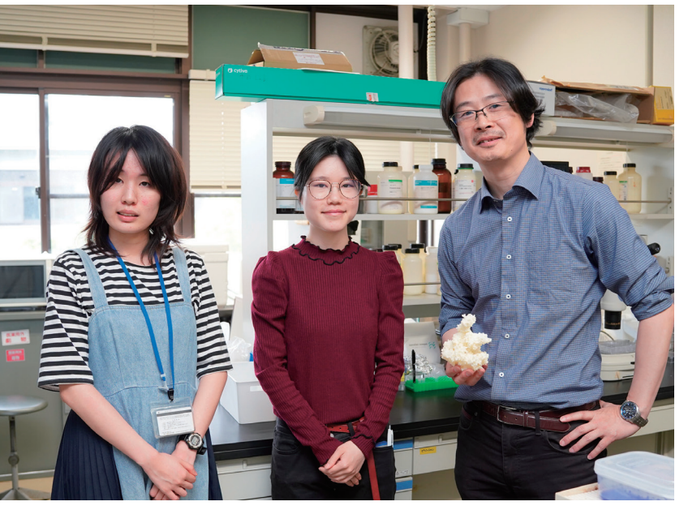
大学公式Xでは、引き続き、学生に向けた防災についての情報や注意喚起を発信予定です。右記QRコードよりフォローしていただき、防災知識の向上に役立ててください。また、周りの大切な人たちにも共有してあげてください。

徳島大学公式X

研究室へようこそ［取材］

超好熱菌のRNA関連酵素の構造から機能を解明し、生命起源と進化の謎に迫る!

理工学部 准教授 **平田 章**（ひらた あきら）**研究室**



アーキアの遺伝情報伝達に関わるRNA関連酵素を分子レベルで解き明かすことを目指す平田研究室のみなさん。最近では有用微生物も徳島県内で探索中のこと。

高温環境で生息する超好熱菌を通して、生命の起源や進化を解明する手がかりを掴もうと研究に取り組む平田先生。「生物は真正細菌とアーキア・真核生物の3つに分岐して進化しています。アーキアとヒトをはじめとする真核生物は同じ祖先から分岐したため、遺伝情報伝達に関わる仕組が似ています。また、アーキアを研究することで生命の起源や原始地球の高温環境下で生物がどのように進化してきたのかが分かるのではないかと考えています」。

アーキアにもいろいろな種類がありますが、実験に用いるのは原始生命体に近いと推測される超好熱アーキア。「世の中にある形のあるものは、何かの働きをするためにその形状になっている。その逆も真なり」という構造生物学の理論のもと、目に見えない分子の形を可視化し、その分子の機能と役割を探ります。

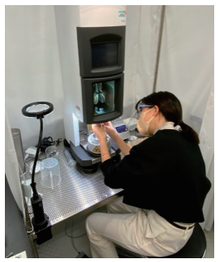
解析には生化学解析と構造生物学解析、遺伝学解析の3つの手法を用います。中でも平田先生が得意とするのは、構造を解く構造生物学解析。遺伝情報の伝達に関わるタンパク質の反応メカニズムや関与するアミノ酸残基を分子構造で見て分かるようになり、関係性をイメージできるようになりました。

平田先生が学部生の頃は酵素活性を数値化するしか変化を知ることができず、「何が起きているのか、構造を見てみたい!」という強い思いで研究を続け、現在のような立体構造解析へとたどり着いたといいます。2008年と2014年にはRNAポリメラーゼ（RNAP）という遺伝情報のDNAをRNAに変換する酵素の構造を初めて決定し、2種類のアーキアRNAP自体がどのような形でRNAを合成するのか、他の仕組みとあわせて学術雑誌『*Nature*』と『*Nature Communications*』で紹介されました。

現在、AI、X線結晶構造およびクライオ電子顕微鏡単粒子解析といった新しい技術により、立体構造解析を用いた研究が進んでいます。実験のため、学生も大型放射光施設『SPring-8』へ行くことができます。「自分のサンプルは責任持って自分で測定する。実験で自分が見つけた結果を学会で発表して、いろんな人とシェアして、シェアできたことに喜びを感じてもらいたい。その楽しさや喜びに行き着くためには、実験を完遂する忍耐力も必要です。学生時代の研究を自身の研鑽にも役立ててほしい」という平田先生。

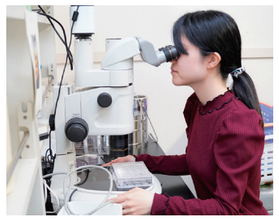
2020年、徳島大学への着任をきっかけに地元の高校生も交え、徳島ならではの急傾斜地農法に関わる新たな微生物探索も始まっているので、興味のある人はぜひ研究室を訪ねてみてください。

研究室のサイトにはイエローストーン国立公園のモーニング・グローリー・プールの写真が。ここは好熱菌の研究者にとって聖地のような場所で、平田先生自身も訪れたことがあるそう。



『SPring-8』でクライオ電子顕微鏡単粒子解析のため、凍結グリッド作製。この工程が肝心だそうです。

超好熱アーキア*Thermococcus kodakarensis*
RNAポリメラーゼのX線結晶構造。10年の歳月を経て決定。



実験に用いるのは鹿児島県の小宝島の海底火山の噴出孔で単離された超好熱アーキア「*Thermococcus kodakarensis*」。超好熱菌研究ではメジャーなアーキアだそうです。

臨床ニーズの高い難治性疾患に対する革新的な薬物治療システムの開発を目指して

薬学部 教授 **金沢 貴憲**（かなざわ たかのり）

治療薬を標的部位に運ぶナノDDS技術を開発

金沢先生が取り組んでいるのは、治療薬を標的部位に運ぶナノDDS（ドラッグデリバリーシステム）技術の開発です。

今年4月に薬業界最大の専門紙「薬事日報」でも取り上げられた研究なので、その記事をご覧になった人もいるでしょう。

金沢先生は主にアルツハイマー型認知症やパーキンソン病、ALSなど脳神経系の疾患の治療を目的に、治療薬の運搬体による伝達システムの開発を進めています。

脳に治療薬を送る過程で一番の課題は〝送達経路〟です。脳神経系疾患の治療薬はこれまで血管を介した手法が模索されてきました。しかし、血管を通じて脳に薬を届けるには、血液脳関門というバリアを突破しなくてはなりません。

血液脳関門は毛細血管の内皮細胞が緊密に結合し、がっちりと隙間なくガードしている状態。脳を有害な物質や病原体から保護する役割のある血液脳関門ですが、ここを通過する方法はまだ見つかっていません。

「当時、血液脳関門を突破するための研究を一生懸命やっていたのですが、血管を介さず鼻から脳へダイレクトに繋がるルートがあるという論文を見つけ、ラットを使って経鼻投与の実験を行いました」。

経鼻投与に切り替えて実験してみると劇的に治療効果が出て、送達ルートを変えるというアイデアに行き着いた金沢先生。

「鼻粘膜には脳とつながる嗅覚神経と三叉神経があり点鼻薬を打つと脳に届きやすく、血管に注射する場合と比べ、劇的に脳に薬物が送れるようになり、DDSの一つの選択肢として経鼻投与はありだと思いました」。

ブレークスルーポイントはカニクイザルの実験

この研究における「一番のブレークスルーポイント」と振り返るのが、2021年のAMEDの事業支援を受けて行ったカニクイザルの実験です。

人と比較的近い大型の霊長類でも同じような結果が出るか、カニクイザルでの経鼻投与実験を行い、脳へ薬を送達できることが実証されました。

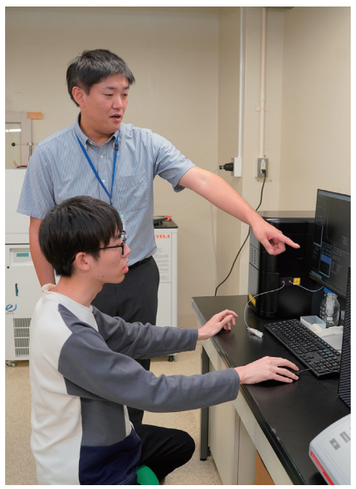
投与量や送達効率の向上といった新たな課題も見つかり、今後は動物疾患モデルを使って、治療効果を発揮するかどうかといった点も検証していく考えです。

運搬体ナノ粒子もより高性能に

経鼻投与という送達ルートに見合った運搬体の開発、改良も進んでいます。

カニクイザルの実験では、遺伝性疾患の治療などで使用されるアンチセンスオリゴ核酸を、ブロックコポリマーと脂肪酸修飾膜透過性ペプチドを共集合化させたナノ粒子に入れて投与し、成功しました。今後はさらなる性能や精度の向上を目指しています。

「例えば認知症だったら、海馬やその周辺の弱った神経細胞にスーッと行って、そこだけ修復する。認知症に関係ない正常な脳組織には影響しない、部位選択性のような機能をナノ粒子につけたいと考えています」。



学生もこうした最先端の研究に関わることができます。

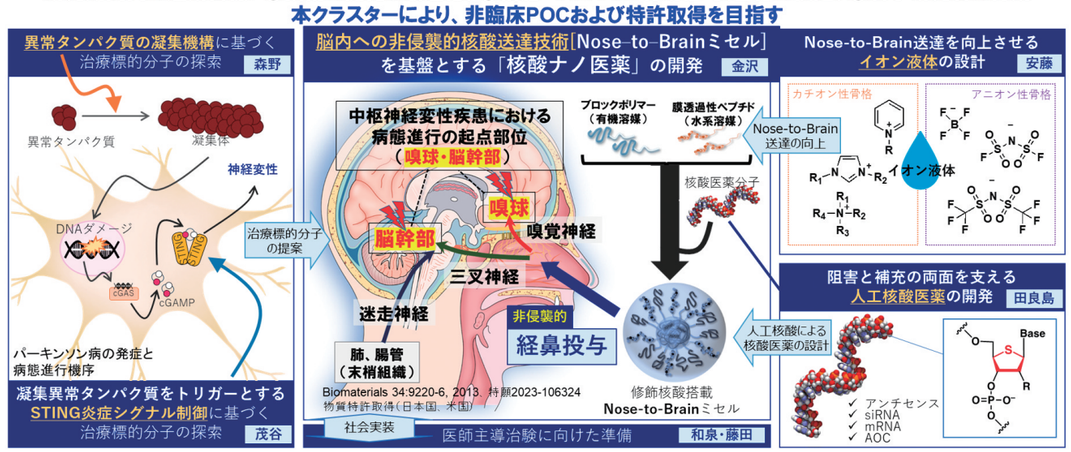
認知症は海馬、パーキンソン病は黒質線条体、ALSは脊髄と、疾患ごとにポイントになる組織が異なるため、疾患部位ごとの特異的な送達方法についても運搬体の研究と共に進める予定です。

点鼻薬で認知症治療!? 患者に優しい医薬品開発を目標に

具体的な経鼻投与の方法は、鼻の粘膜にシュッと吹き付ける点鼻薬のようなものをイメージしています。

「鼻粘膜まで届けば、ナノ粒子自身の力で粘膜から脳に移動し、送達できるとカニクイザルの実験で大体分かってきました。どういうデバイスを用いるかは今後、検討していきますが、点鼻薬で認知症やパーキンソン病が治療できるようになれば、患者さんご自身が自宅で投与することができます。患者に優しい医薬品の開発も私が目指すテーマです」。

点鼻の液量は限られているため、高含有な噴霧体製剤の作り込みなど、実現までにはいくつかのハードルはありますが、ナノDDS技術の開発は難治性疾患の治療が可能になるかもしれないという、明るい兆しが感じられます。



インキュベーションクラスターに選出された「異常タンパク質の凝集・伝播を標的とする中枢神経変性疾患に対する革新的な核酸医薬シーズの開発（2023-2025）」

研究を後押しするDDS研究センターや研究クラスター

金沢先生が徳島大学の薬物治療分野に着任したのは昨年7月。徳島大学の薬学部で研究を行うメリットを次のように話します。

「徳島大学でDDS研究を行っている、小暮健太朗教授（薬物動態制御学分野）、石田竜弘教授（創薬理論化学分野）、立川正憲教授（薬学研究部）によって、昨年、医歯研究センター』に、私たちの研究室も参画し、計4研究室による革新的なDDS研究を推進しています。DDS技術に強い研究者がこれだけ揃った大学は全国的にみても珍しく、しかもその研究室間で、しっかりと連携し、研究をしているところはどこにもないのではないかと思います。

それに加え、一つの目的に向かっていろんな分野の先生が集まって研究をする『徳島大学研究クラスター』もあり、私がクラスター長を務める研究がインキュベーションクラスターにも選出されました。

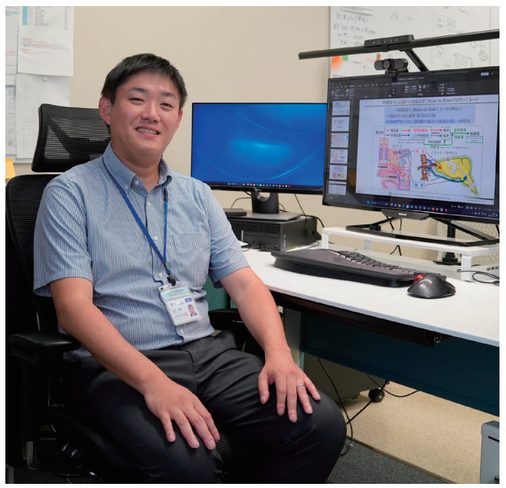
これまでも臨床の先生方と連携したいと思っていたものの、なかなか実現できずにいました。ところが、徳島大学に来てすぐに産学連携の担当の方から脳神経系の研究をしている医学部の和泉先生を紹介いただきました。和泉先生は脳神経系の先生で、特にALSを中心に研究されています。

それからもう1人、遺伝医学分野の森野先生とも繋いでいただきました。森野先生は病気の原因となっている遺伝子（変異遺伝子）を見つける研究をされています。このように部局を越えた連携がしやすい環境にあるのが徳島大学の強みだと感じています」。

いまだ有効な治療法のない神経変性疾患。連携して取り組むことでこれまで困難とされてきた課題に別の角度からアプローチし、治療法の開発と実用化へ向けた研究がスピード感をもって進行しています。

DDS研究センターホームページ

薬物治療学分野の研究室ホームページ



金沢先生がこの研究を始めたのは約15年前。東京薬科大学で学位を取得後、約10年間スタッフ教員として研究を行っていた際に、テーマの一つとしてDDS技術の開発が含まれていたそう。その後、日本大学薬学部の薬物の輸送動態を解析する先生から声がかかり、日本大学では脳神経系のDDS技術メインで研究。その後社会実装可能な医薬品開発のためにナノ粒子の精度・品質を高めたいと、静岡県立大学薬学部の創剤科学研究室へ。各大学で脳神経系の疾患治療に繋がる技術や知見を吸収し、2023年7月に徳島大学薬学部へ。

魅力ある授業【取材】

多様な考え方のある経済学を通して様々な角度から物事を考える素地を養う

【生物資源経済学Ⅱ
対象：生物資源産業学部2年生】

生物資源産業学部 講師 **橋本 直史**（はしもと なおし）

橋本先生は食品流通に関する授業も担当しているため、関連授業として選択している学生もいるそう。この日、配布されたプリントには哲学者 内山節さんの新聞コラムが載っていて、「誇りを持って働き、誇りをもって生きる世界」を目指し、「地域づくりに関わる仕事がしたいと考える人」が増加傾向にあると紹介されていました。後半のテーマ「地域経済」の序文的な内容であるとともに、学生たちが将来を考える際のヒントにもなる話で、こうしたコラム一つからも経済学への興味を誘発する工夫が感じられます。

生物資源産業学部の講義のほとんどが理系ですが、その中でも珍しい文系の授業。多様な考え方のある経済学を、大きく3つの観点から学んでいきます。

授業の前半は市場経済の長所と短所を、中盤は資本主義の問題点について、後半は人間関係や協働によって支えられる生物資源・地域経済をテーマに、「自分たちの暮らしを経済という視点から見ると…」と、自ら考える力を養うのが目的です。

取材に伺ったのは中盤、第7回「資本主義経済論①」。中世は封建制度の下、農業中心の経済が展開されていましたが、産業革命により工業化が進展すると、工場で働く労働者が多数存在する経済構造へと転換。農村から都市へと人が流れ、お金のため、仕事のために働くようになり、「商品の価値」では商品自体の有用性と、それを生み出すまでの手間とコストが加わるようになった仕組みと歴史について学びました。

受講生は86人。うち35人が必須科目ですが、その他の学生は自由選択です。多くの受講生がこの授業を選択しているのは、橋本先生がテストに出題される部分も明確に示し、専門用語も学生にとってわかりやすい言葉を選んで、説明される点にあります。

経済学の理論的な基礎部分を押さえつつ、今話題のトピックやニュース、雑学的な話も交えた授業は、日頃から経済に関心を持つことの面白さに気づかせてくれます。

「経済は生活のすべてと関わっているもの。大学で習ったことと、自分の暮らしは別、という境界はない。少しでもそう意識してもらえるよう、興味を持ってもらえるように工夫しています」と話す橋本先生。

経済学は様々な視点とアプローチを持つ学問分野で、多数の理論や方法論があるのが特長です。「専門用語を一生覚えている必要はないですが、このメガネをかけたらこんな風に見える。違うメガネだとまた違って見える。見え方が変わると世界が違って見えるという、経済学のエッセンスは身につけてもらいたい。それは将来、きっと役に立つと思います」。

各自が専門的な研究へと進む中で、経済学で身につけた多様な視点がヒントとなる日がくるかもしれません。

部活や研究に情熱を注ぎ、有意義な学生生活を送っている様子を取材しました。

常三島キャンパス

1000人の大学生が集結!? 夏フェス『AWA-SONIC2024』開催決定

総合科学部 社会総合科学科 4年 **松林 永和**（まつばやしとわ）

①

②

③

④

①松林さん（写真前列中央）と一緒に活動するLIP運営メンバー（inマツシゲート）
②LIP運営メンバーで合宿!（in神山） ③学生交流キャンプイベント（inマツシゲート）
④AWA-SONIC実行委員の企画合宿（in椿町）

AWA-SONIC2024 Instagram

LIP Instagram

徳島県内4大学（徳島大学、鳴門教育大学、四国大学、徳島文理大学）の学生によるエンターテイメントコミュニティ『LIP』の創設メンバーとして運営に携わる松林さん。

大学生同士の交流イベントを中心に、学生ならではの視点を活かし、自治体や企業などとのコラボ企画や委託事業も手がけています。

現在、夏フェス『AWA-SONIC2024』の開催に向け、実行委員として活動しています。自ら動き、思いをカタチにする起業家精神が芽生えたのは、高校生の頃のカナダ留学がきっかけ。そこで出会ったコーヒーショップを経営している日系人の起業話に影響を受け、大学入学後は社長や起業家の話を聞きに行くなど積極的に行動し、新しいモノやサービス、世の中にない価値を生み出すことに夢中になっていきました。

その集大成ともいえるAWA-SONIC。「8月31日（土）に小松海岸で開催します。実行委員も募集中なので、まずはインスタを見てみてください」。

蔵本キャンパス

西医体の水泳 背泳ぎで優勝! 2つの水泳部が後押し

医学部 医学科 2年 **三久 翠子**（みきゅう すいこ）

昨年8月に開催された「第75回西日本医科学生総合体育大会」の水泳に出場し、背泳ぎで優勝した三久さん。100m、50mともに大会新記録での優勝を成し遂げ、今年の活躍も期待されています。

三久さんが水泳を始めたのは小学生の頃。高校を卒業したら辞めようと思っていたそうですが、新歓で出会った水泳部の先輩たちの楽しそうな様子に、入部を決意。徳島大学には常三島と蔵本にそれぞれ1つずつ、2つの水泳部があるのですが、その両方に所属。主には練習時間の多い常三島水泳部で活動しながら、蔵本水泳部では同じ学部の先輩や友人との繋がりを大切に、今年度も大会で好成績を残せるよう、切磋琢磨しています。

同じ水泳部とはいえ、2つを掛け持ちするのは大変そうですが、今のところ勉強との両立も図れているそう。「将来どの分野の医師になるか、まだ決めていませんが、2年生になって専門的な科目も増えてきたので、新しいことを学ぶ中で考えていきたい。勉強も部活も楽しみたい」と抱負を語りました。

水泳部（常三島） X

水泳部（常三島） Instagram

水泳部では夏に向け、
中四国大会などの大会へ
出場予定。
部員募集中です!

アストロラーブ

部長アピール

部長 **中尾 綾花**（なかお あやか）
理工学部 理工学科 2年

アストロラーブは徳島大学公認の天文部です。部員は現在47名在籍しています。とてもアットホームな雰囲気で先輩後輩関係なく仲良くやっています。今年はコロナ禍が収まってきたので、ほかの中四国地域の大学との交流や観測会も予定しており、昨年よりも活動の幅を広げていきます。ほとんどの人が初心者ですが、観測会などを通して少しずつ知識をつけていきます。また、学祭のプラネタリウムは毎回好評で小さなお子様でも楽しんでいただけます。気になった方はぜひ見学に来てください! いつでも大歓迎です!

X　Instagram

年間の活動

4月　新入生歓迎観望会
5月　五月祭（プラネタリウム）
6月　地区集会新歓
9月　夏合宿、夏季瀬戸内地区集会
11月　常三島祭（プラネタリウム）、科学の祭典
12月　忘年会
2月　地区集会総会
3月　春の星まつり（地区集会）

部活

- 毎週金曜日 18:00〜
- 場所：通常活動日 部室
  観測 日が沈むころ〜　吉野川河川敷、大学の屋上、海岸、山頂など
- X:@astro_toku2
  Instagram:@tokushimadaigaku_astro
- 入部方法：部活見学、観測見学、公式X、公式Instagram

アメリカンフットボール部

主将アピール

主将 **北原 冬馬**（きたはらとうま）
理工学部 理工学科 4年

初心者、経験者大歓迎です。徳島大学アメリカンフットボール部は初心者から始める人がとても多く、先輩たちが基礎から教えます。基礎的な技術から、戦術まで幅広く学び、チーム一丸となって活動しています。アメフトは個々の能力だけでなく、チームワークがとても大切です。そしてたくさんの体格の人が活躍できる数少ないスポーツです。年間を通して、関西の大学と試合や合宿をしています。
大学生でアメフト、筋トレをしてかっこよくなりませんか?選手、マネージャーどちらも大歓迎です。見学からでもぜひお越しください。

X　Instagram　Facebook

ホームページ

年間の活動

5〜7月　関西学生 春シーズン戦
8月　合宿
9〜12月　関西学生 秋シーズン戦

部活

- 水曜日、木曜日 18:30〜21:00 / 土曜日、日曜日 9:00〜12:00
  土・日・祝日に試合
- 場所：総合グラウンド
- X:@1_99pirates
  Instagram:@__PIRATESFOOTBALL
  Facebook：https://www.facebook.com/TokushimaPirates
  ホームページ：https://piratesoffense.wixsite.com/tokushimapirates
- 入部方法：練習見学

男子バレーボール部

部長アピール

部長 **蔭山 魁秀**（かげやま かいしゅう）
総合科学部 社会総合科学科 3年

私たち男子バレーボール部は、四国優勝、全国ベスト32を目標に真剣に活動しています。昨年は、四国準優勝、全日本インカレ初出場という結果を残すことができました。
プレーヤー、マネージャー大歓迎です!

Instagram

年間の活動

4月　春季徳島県大会 天皇杯徳島県ラウンド
5月　春季四国リーグ戦 中四国インカレ
6月　西日本インカレ
7月　春季徳島県クラブリーグ
8月　夏季オープン戦
9月　天皇杯四国ラウンド
10月　秋季四国リーグ戦
11月　秋季徳島県クラブリーグ 秋季徳島県大会
12月　全日本インカレ
3月　春季オープン戦

部活

- 水曜日・金曜日 19:00〜21:00
  土曜日・日曜日 12:00〜15:00
- 場所：通常練習日 体育館（常三島キャンパス）
- Instagram：@tokushima.uni.volley
- 入部方法：練習体験、練習見学

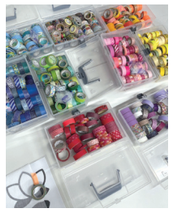
ホスピタルアートクラブ

部長アピール

部長 **西松 璃玖**（にしまつ りく）
総合科学部 社会総合科学科 4年

私たちは徳島大学病院の職員さん、患者さんや利用者の方々に心と体の健康、癒しづくり場をアートの力で届けています。会談アートをはじめ、病院内に様々なアートを製作中です。美術の経験がないからどうしよう…などの心配は不要です!ホスピタルアートに興味関心のある人は、私たちと一緒に楽しく活動しましょう!

X　Instagram



年間の活動

5月　五月祭出展
6月　子供向けワークショップ
8月　阿南医療センターでのアート研修
9月　アート製作研修
11月　アートミーツケア学会
※ほかにも県内医療福祉施設での
アート製作活動を行っています

部活

- 活動　不定期で月1日程度
  X:@tokudaiHAC
  Instagram:@TOKUDAIHAC
- 入部方法：SNSのDM、もしくは部員に直接ご連絡ください!

2023年度 徳島大学卒業（修了）生の 就職状況・各種国家試験合格状況

2023年度徳島大学学部卒業生の就職率は

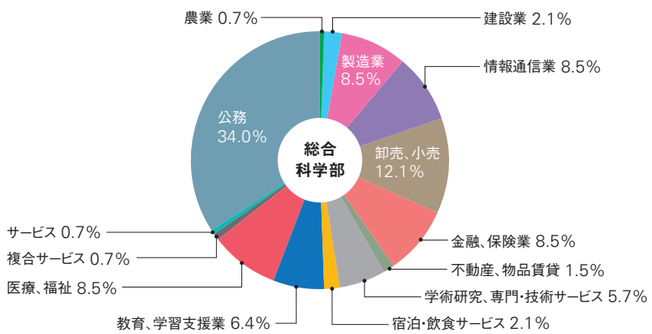
99.2%

学部卒業者の全国就職率

98.1%

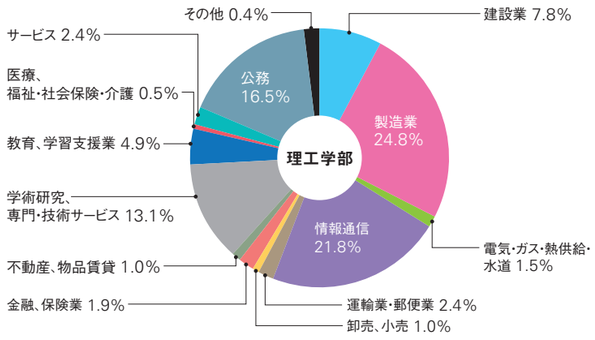
（うち国公立大学 98.5%）
（2024年4月1日現在 / 5月24日 文部科学省・厚生労働省発表）

学部卒業生産業別就職先（医歯薬以外の学部）



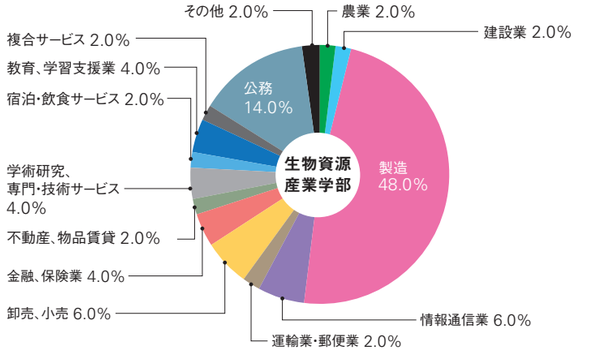
主な就職先

●阿波銀行 ●安藤ハザマ ●NHK ●湖池屋 ●大和ハウス工業 ●日亜化学工業 ●ニトリ ●日鉄ケミカル&マテリアル ●日本ハム ●ハウス食品 ●フマキラー ●明治安田生命保険 ●徳島県庁 ●大分県庁 ●東京特別区 ●法務省 ●厚生労働省 ●神戸税関 ●高松国税局 ●高松地方裁判所 ●公立学校教員（徳島県） ほか



主な就職先

●SCSK ●STNet ●NTT西日本 ●大塚商会 ●オルビス ●鹿島建設 ●キヤノンITソリューションズ ●興和 ●サイバーエージェント ●四国電力 ●JR西日本 ●四国放送 ●清水建設 ●日亜化学工業 ●古河電気工業 ●本田技研工業 ●マクセル ●三ツ星ベルト ●ルネサスエレクトロニクス ●徳島県庁 ●香川県庁 ●兵庫県警 ●神戸市役所 ●国土交通省 ●経済産業省 ●公立学校教員（徳島県、京都府、岐阜県、大阪府ほか） ほか



主な就職先

●MTG ●大塚製薬 ●大塚製薬工場 ●JR九州 ●千寿製薬 ●第一三共バイオテック ●東ハト ●日鉄ソリューションズ ●日本ハム食品 ●日立造船 ●Meiji Seikaファルマ ●ユニ・チャーム ●有楽製薬 ●四電工 ●岡山県庁 ●神戸税関 ●高松国税局 ●水産庁 ほか

（2024年5月現在）

学部卒業者 進学・就職状況

	総合科学部	医学部			歯学部		薬学部		理工学部		生物資源産業学部
		医学科	医科栄養学科	保健学科	歯学科	口腔保健学科	薬学科	創製薬科学科	昼間コース	夜間主コース	
卒業者数	163	122	54	123	42	14	39	34	500	42	95
進学者数	11	0	30	26	4	2	3	31	311	15	41
その他（※1）	10	11	2	5	2	0	2	1	7	0	3
就職希望者数	142	111	22	92	36	12	34	2	182	27	51
就職者数	141	111	22	92	36	12	34	1	179	27	50
就職率	99.3%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	50.0%	98.4%	100%	98.0%

（※1）大学院進学希望のうち未進学者含む

大学院修士（博士前期）課程修了者進学・就職状況

	創成科学研究科	医学研究科	医科栄養学研究科	保健科学研究科	口腔科学研究科	薬学研究科	先端技術科学教育部
修了者数	362	5	23	28	3	34	1
進学者数	11	0	4	1	0	5	0
その他（※2）	14	2	0	3	2	1	1
就職希望者数	337	3	19	24	1	28	0
就職者数	336	3	19	24	1	28	0
就職率	99.7%	100%	100%	100%	100%	100%	ー

（※2）大学院進学希望のうち未進学者含む

大学院博士（博士後期）課程修了者進学・就職状況

	総合科学教育部（※3）	医学研究科	医科栄養学研究科	保健科学研究科	口腔科学研究科	薬学研究科	先端技術科学教育部（※3）
修了者数	1	29	4	9	11	14	18
進学者数	0	0	0	0	0	0	0
その他（※4）	1	25	2	7	3	9	7
就職希望者数	0	4	2	2	8	5	11
就職者数	0	4	2	2	8	5	10
就職率	ー	100%	100%	100%	100%	100%	90.9%

（※3）令和4年学生募集停止 （※4）大学院進学希望のうち未進学者含む

各種国家試験等の合格状況

※現役のみ

	合格者数（合格率）
医師国家試験	111（91.0%）
歯科医師国家試験	37（88.1%）
管理栄養士国家試験	52（96.3%）
看護師国家試験	67（97.1%）
診療放射線技師国家試験	32（88.9%）
臨床検査技師国家試験	15（93.8%）
保健師国家試験	28（100%）
薬剤師国家試験	36（92.3%）
歯科衛生士国家試験	14（100%）
社会福祉士国家試験	13（100%）
助産師免許国家試験	5（100%）

国家公務員合格者数 / 地方公務員正規就職者数

※大学院生を含む、国公立病院（医療職）、保健師、公立学校教員を除く

	合格者数
国家公務員総合職	5（理工学部4、生物資源産業学部1）
国家公務員一般職	42（総合科学部20、理工学部16、生物資源産業学部6）
国税専門官他	25（総合科学部18、理工学部4、生物資源産業学部3）
地方公務員	76（総合科学部32、医学部7、歯学部2、薬学部6、理工学部26、生物資源産業学部3）

教員免許取得者数 ※大学院生を含む

	取得者数（延べ人数）
中学校教諭	23（総合科学部6、理工学部17）
高等学校教諭	49（総合科学部8、理工学部41）
養護教諭	32（医学部）

NICHIA
Ever Researching for a Brighter World
身近なところでNICHIAの製品は活躍しています
日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡 491 番地
TEL：0884-22-2311
http://www.nichia.co.jp/

教員を目指す学生の皆さんへ

教員採用試験対策情報

8月　教員採用試験に向けての模擬授業対策講座
　　教員採用試験に向けての個人面接対策講座
11月　教員採用試験 先輩の体験談

【主催】 教職教育センター、キャリア支援室
教員採用試験を控えた3年生はもちろん、教員を目指している1・2年生もぜひ参加してください！

第34回企画展

徳島大学総合科学部 創立百五十周年記念展

―近代徳島と人材育成

2024年7月16日(火)～10月27日(日)

ガレリア新蔵展示室は、さまざまな企画展の開催を通じて、広く地域社会への情報発信に努めています。

徳島大学総合科学部は今年、その前身である徳島師範期成学校の創設から数えて百五十周年を迎えました。徳島師範期成学校はその後改称・再編を重ね、昭和24年には学制改革により徳島大学学芸学部、同41年に教育学部となり、創設以来、徳島県における教員養成に尽力してきました。昭和61年には、専門分野の知識・技能と学際的な視点を兼ね備えた人材の養成を目的とする総合科学部へと改組し、地域社会の課題解決などに努めてまいりました。

今回の企画展では、この百五十年の歩みについて貴重な過去の資料や地図などを交えて紹介します。館内では懐かしい映像のビデオ上映や古写真のパネル展示も行います。7月20日、8月7日、10月19日の午前10～11時には、会場にて展示解説を行います。ぜひ、卒業生をはじめ、多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

昭和40年代の教育学部校舎

徳島師範学校 第1回卒業記念写真

【展示会場】徳島大学ガレリア新蔵展示室
徳島市新蔵町二丁目24番地 日亜会館1階
【開館時間】9時～17時
【休館日】8月10日～8月15日
【問い合わせ】徳島大学総務部未来創造課
TEL：088-656-7646
E-mail：kohokakari@tokushima-u.ac.jp

徳大ニュース Tokudai NEWS

令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」及び「若手科学者賞」を本学教員が受賞しました

令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について、ポストLEDフォトニクス研究所の安井武史教授が科学技術賞（研究部門）を、先端酵素学研究所の小林穂高准教授が若手科学者賞を受賞しました。

「科学技術分野の文部科学大臣表彰」は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的に顕彰されるものです。

令和5年度教養教育優秀学生賞・教養教育賞・教養教育賞特別表彰の表彰式を開催しました

教養教育優秀学生賞は、1年次の教養教育科目の成績優秀者を表彰するもので、学生の勉学意欲向上を図ることを目的としています。

教養教育賞は、非常勤講師を含む教養教育科目の授業を担当する教員を対象に、優れた授業を実践し、教育方法及び内容が学生から高く評価された教員を表彰することにより、教養教育の質的向上を図ることを目的としています。また、教養教育賞特別表彰は、教養教育賞を5回受賞した教員に対して、その多大な功績を称えて、表彰するものです。

被表彰者一覧はHPをご覧ください

令和6年春の生存者叙勲を次の方が受章されました

瑞宝中綬章

木内陽介 元工学部教授、徳島大学名誉教授
教育研究功労

木内陽介名誉教授は、生体医工学分野において、磁力で義歯を維持するデバイスである磁性アタッチメントの開発、在宅で頸動脈血流速度を測定できる装置の開発など重要な業績を挙げ、この分野の発展に大きく貢献されました。

瑞宝中綬章

矢野米雄 元工学部教授、徳島大学名誉教授
教育研究功労

矢野米雄名誉教授は、教育工学分野において、化学分子模型のパソコン上での実現をはじめ、パソコンによるカリキュラム相談システムを研究開発し、また、ネットワーク上で行える日本語添削システムの研究開発を行うなど重要な業績を挙げ、この分野の発展に大きく貢献されました。

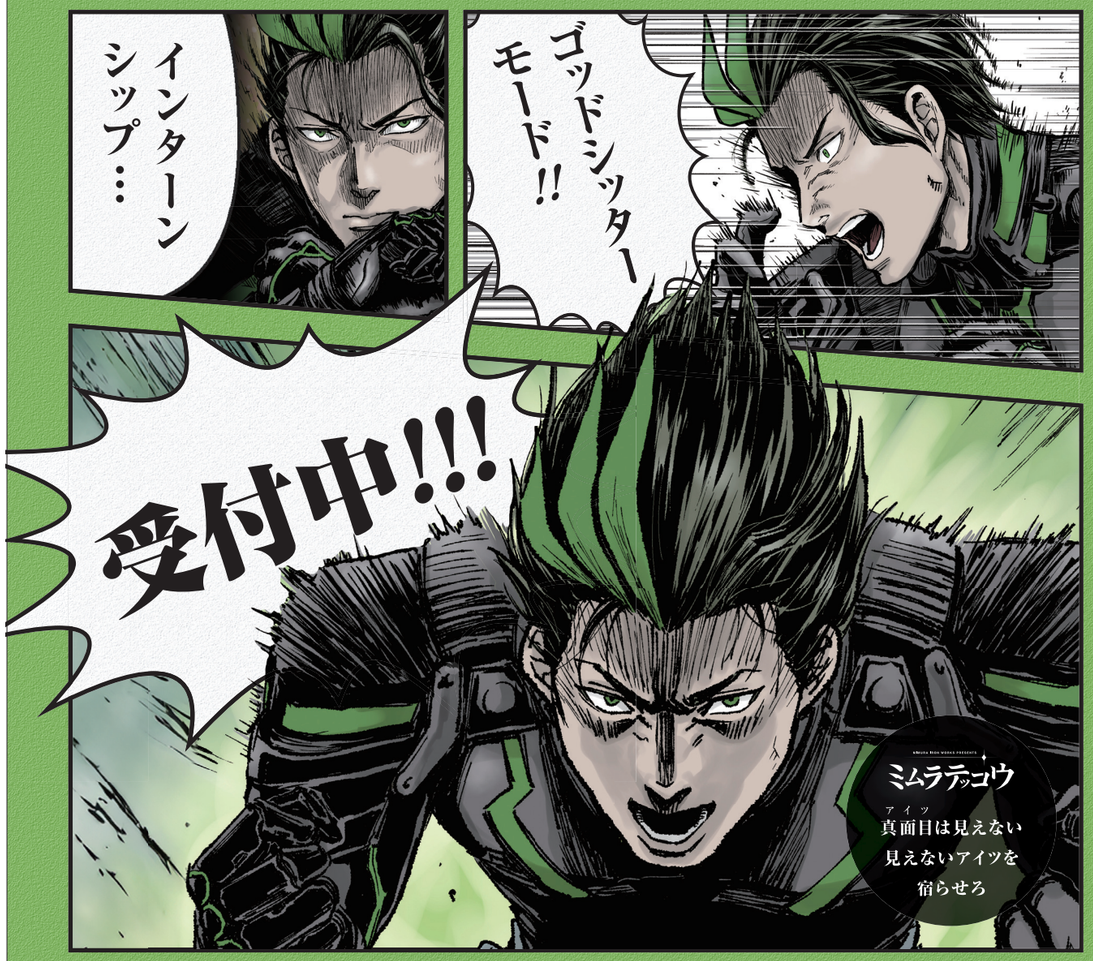
瑞宝双光章

五十嵐義明 元事務局長
文部科学行政事務功労

五十嵐義明元事務局長は、38年の永きにわたって文部科学省、国立大学において、文教行政に携わられ、各機関の円滑な管理運営や組織の整備・充実を図られ、もって文部科学行政の発展に貢献されました。本学においては平成20年4月から平成24年3月まで事務局長として勤務されました。

油圧シリンダ専門メーカー
MIMURA

建機用ジャッキシリンダ
シリンダ内径 | 130mm
ロッド外径 | 100mm
ストローク | 590mm
使用圧力 | 20.6MPa
最高出力 | 伸び側274KN
縮み側77KN



インターンシップや、仕事体験、工場見学会なども通年で受け付けています。気になる方は、ホームページまたはお電話からお申し込みください。その他、何かご質問があればお気軽にお問い合わせください!

オリジナル短編動画「ミムラテッコウ」スペシャルサイト
オリジナル短編動画「ミムラテッコウ」誕生秘話
MIMURA TRAINING STORY ものづくりの出発点
インターンシップ受付はこちら マイナビ2026

当社は香川県さぬき市で『油圧シリンダ』を専門に作っている会社です

MIMURA 三村鉄工株式会社
〒769-2105 香川県さぬき市末371番地6 TEL：087-894-7788(代)
You Tubeでも情報発信中
公式HPはこちらから